

館内無料ガイド※3名以上30名未満

「いのちをつなぐ未来館」の展示について、当館ガイドが解説いたします。ガイド中は展示に関するご質問もしていただけます。展示内容をより深く理解したい方は、ぜひこの機会にご活用ください。

所要時間は質疑応答も含めて30分になります。30名様以上または30分を超える場合は有料となりますのでご了承ください。（※1週間前までに事前予約が必要となります。）

また、当館は開館時間内であれば無料で自由に見学いただくことも可能です。

自由見学の場合、事前予約は必要ありません。（※10名以上の団体様の場合はご連絡ください。）



【第一展示室】東日本大震災と釜石

釜石市内における東日本大震災の被害状況から、展示は始まります。釜石は海岸線が入り組む複雑な地形をしており各地域で被害が異なりました。また、過去に何度も津波の被害を受けており、津波常襲地域とも呼ばれていました。さらに「発災後7日間の動き」として、自衛隊や消防の方々を中心とした救助活動、ボランティアの活躍、全国各地からの救援物資の到着の様子などを当時の写真とともに紹介しています。

【第二展示室】鵜住居地区防災センターの出来事

いのちをつなぐ未来館の隣には、東日本大震災により犠牲となった方々を慰霊、追悼する「釜石祈りのパーク」という施設があります。そこには当時「鵜住居地区防災センター」という施設がありました。「避難拠点（中長期の避難生活をおくる場所）」ではありつつ、津波の「緊急避難場所」には指定されていなかった当時の防災センター。

その名称や利用のされ方から、地域では多くの誤解が生じ、この場所に避難をした多くの方々が津波により犠牲となってしまいました。このような出来事を避けるために、何をすべきだったのか。具体的な地域の方の避難行動や証言とともに当時を振り返ります。



【第三展示室】釜石の子どもたち

市内全域で甚大な被害が生じた一方で、市内の小中学生（約3,000人）の生還率は、99.8%でした。そのため、釜石における防災教育は、全国的にも高い評価をいただいています。この展示室では、鵜住居地区にあった釜石東中学校・鵜住居小学校の事例を中心に、当日の児童生徒の避難行動やそれまでに行われていた防災学習の内容を紹介しています。災害の怖さを学ぶとともに、どのように備えれば助かることができるのか考えるきっかけとさせていただければ幸いです。



詳しい申込方法に関しては、ホームページに掲載の「申込書」をご参照ください。

お問い合わせ先：いのちをつなぐ未来館 TEL：0193-27-5666 FAX：0193-27-5667

E-mail： tomosu@dmo-kamaishi.com URL： <http://unosumai-tomosu.jp/>